

決定第5号（NHK）

1998（平成10）年10月26日
放送と人権等権利に関する委員会決定第5号

権利侵害申立に関する委員会決定

放送と人権等権利に関する委員会
委員長 清水 英夫

申立人 A幼稚園
B理事長 外53名

被申立人 日本放送協会（NHK）

・申立に至る経緯

1997年12月9日、NHKの番組「クローズアップ現代」（29分番組）で、「赤ちゃん預かります～保育に乗り出した幼稚園の戦略」と題する放送が行われた。この番組は、少子化と女性の社会進出によって保育園への需要が高まる中で、厳しい経営状況に追い込まれた幼稚園の現状と対策、行政の対応等を伝えるものであった。

この番組の中で、園児の減少で経営が苦しくなった幼稚園の例として京都市山科区にあるA幼稚園が2分間取り上げられた。この放送に対し、A幼稚園側（理事長が園長代行）は「取材趣旨の説明と異なり、園の特色である教育方針が全く紹介されず、経営状況の厳しさだけが意図的に強調された」としてNHKに抗議した。しかし、話し合いに決着がつかず、今年6月、この放送により幼稚園の信用が毀損され、保護者、園児、教職員らの名誉が侵害されたとして、A幼稚園側が本委員会に対して、「権利侵害」の救済を求める申立を行った。

．申立人の申立要旨

1．取材趣旨の説明と放送内容

当園の取材に際してNHKから、当園の特色である「ないないづくしの教育」と経営状況が厳しいことを取材したいという説明を受けた。

「ないないづくしの教育」とは、バスを使わない、給食をしない、制服を使わない、勉強を教えない、延長、預かり保育をしないということで、子供たちの豊かな心を育む「のびのび保育」を目的にしたものである。しかし、実際に放送された番組の中では、園児数の減少で経営が苦しいということだけが強調され、「ないないづくしの教育」「のびのび保育」という当園の教育方針は全く紹介されなかった。

2．「マイナスイメージにならないよう配慮」との約束

撮影の前後3回にわたって、担当者に「当園にとってマイナスイメージにならないか」と質したところ、「マイナスイメージにならないよう配慮します」と約束した。しかし、放送では当幼稚園が廃園になりつつある幼稚園のモデルであるかのように紹介された。放送日は、園児募集の時期であり、園児数減少の不安を募らせることになった。

3．理事長インタビュー、映像等の編集

B理事長はインタビューの中で、遊びの中でのびのびとした保育を目指す当園のあり方を述べた。実際の放送では、この教育方針はすべてカットされ、インタビューの最後に答えた「経営が苦しい」という部分だけが放送された。

また、園内の子供の様子などを撮影した多くの映像の中から、閑散とした映像だけが使われた。このように意図的なインタビュー、映像の使用によって、廃園になるかのようなイメージを見ている人に与えた。

4．事実誤認

「理事長は今年になってから給料なしで働いている」と放送されたが、理事長職は元々ボランティアであり無給である。

「経営が苦しくなったこの幼稚園は、募金を募ったが月々10万円余りしか集まらない」とのナレーションは事実と異なる。幼稚園設立当初から後援会費を集めているが、経営苦から「募金」を募った事実はない。

「かって130名であった園児数は、ここ数年、その数が減り続け、現在37名である」とのナレーションは事実と反し、当園の園児数が、ここ数年で急減した事実はない。

A幼稚園と周囲の保育園の園児数を比較したグラフは、ここで取り上げ

た保育園と同一地域にある全ての幼稚園の園児数との比較でなければ意味がない。当園だけを取り出しての比較は、当園の園児数の減少を意図的に強調したものである。

5. 「おはよう関西」での其枝幼稚園の放送

「クローズアップ現代」放送後の12月17日、当幼稚園の抗議を受け、「おはよう関西」の中で当園の「のびのび保育」が紹介された。これは「クローズアップ現代」の放送に対する当方の抗議の正当性を認めた上での是正措置である。この番組の放送は評価できるとしても、これと「クローズアップ現代」の問題とは別である。

以上のように、本件放送は取材趣旨の説明と異なるばかりでなく、事実でない事項や事実の一部のみを取り上げた構成で、A幼稚園の経営の厳しさだけを強調しているため、当園の信用が損なわれ、園児、保護者、教職員の名誉が侵害された。本件放送によって被った被害を回復するため、以下の3点を要求する。

NHK会長名による謝罪文

「クローズアップ現代」の中での訂正、謝罪

幼稚園と保育園を公平に扱った番組の制作

. 被申立人の答弁要旨

1. 取材趣旨の説明と放送内容

撮影の申し込みに当たって、番組全体の趣旨とともにA幼稚園の園児が減っている事実や後援会による支援の話、「ないないづくし」の幼稚園であることを取材したい旨を理事長に明確に説明した上で、取材、撮影の了解を得た。放送内容はその事実に基づいたものである。

2. 「マイナスイメージにならないよう配慮」との約束

取材後、A幼稚園理事長から懸念が表明され、担当者は「故意に事実と違う放送をするつもりはない。また、マイナスイメージにも配慮する」旨答えている。このため、A幼稚園の「ないないづくしの教育」方針が園児数の減少を招いているかのような印象を与えることで、同幼稚園にマイナスイメージを与えないよう留意することとし、編集に当たってA幼稚園の教育方針に、あえて触れないことにより約束を履行している。

3. 理事長インタビュー、映像等の編集

理事長インタビューの放送内容は、A幼稚園の教育特徴や厳しい経営状況を中心に聴いた中での応答を使用した。番組全体におけるA幼稚園の位置づ

けや、マイナスイメージにならないようにとの配慮を加味してインタビューや映像等の編集を行っている。あらかじめ理事長に了解を得ている取材趣旨に沿った編集であり、事実を反した意図的な歪曲や強調は行っていない。

4. 事実誤認

A幼稚園では、前園長の退職に伴い、平成9年から現理事長が園長代行を勤めている。前園長には給料が支払われていたが、現理事長はボランティアとして給料なしで働いており、放送内容は事実である。

「募金」という表現については、正確には映像で伝えているように「後援会費」であるが、その性格を分かり易く表現するため「募金」という用語を使用した。許容される言い換えと判断している。

理事長の説明によれば、最大130名いた園児が次第に減り続け、ここ数年も40名台から30名台に減っているのは事実で、放送内容に誤りはない。

A幼稚園と周囲の保育園の園児を比較したグラフは、少子化の中でも保育園では満員状態が続いている全国的傾向が、A幼稚園周辺でも起きていることを表わしたものであり、この地区に他の幼稚園が存在するかどうかは、グラフの内容とは無関係である。

5. 「おはよう関西」での其枝幼稚園の放送

「おはよう関西」での放送は、「クローズアップ現代」放送後の抗議の中で、「園児達の表情が放送されなかったので、子供たちが残念がっている」という保護者の声に応えたものである。A幼稚園のユニークな教育方針をテーマに番組化したもので、「クローズアップ現代」への抗議に対する是正措置とは考えていない。

以上、本件番組は、A幼稚園の理事長に番組全体の趣旨、取材の趣旨を明確に説明し、了承を得て取材・制作したもので、放送した内容は事実に基づいており、事実の誇大な強調や歪曲も行っていない。

本件番組が、A幼稚園の信用や保護者及び園児、教職員、理事長の名誉を毀損するものとは考えておらず、是正措置は何らとっていない。

・委員会の判断

本委員会は、申立人の申立書、被申立人の答弁書、答弁書に対する反論書、反論書に対する再答弁書を検討するとともに、被申立人から提出された当該番組等の録画を視聴し審理した。また、申立人、被申立人の双方から意見を聴取した。

1. 取材の趣旨と放送内容について（申立要旨 1、2、3）

本件の場合、被申立人（NHK）の取材趣旨の説明と申立人（A幼稚園、以下「幼稚園側」とする）の受け止め方との間には著しい落差があるが、NHKに作為があったとか、説明が全く不適切であったとは認められない。

しかし、A幼稚園に関して実際に放送された内容や、取材の前後に幼稚園側からNHKに対して表明されていたマイナスイメージの懸念などに鑑みると、NHKには取材、編集段階においてより細やかな配慮が必要であった、と考えられる。

NHKも、幼稚園側が強調する「ないないづくしの教育」を取り上げたいと伝えた事実を認めているが、その部分をカットしたことについて、幼稚園側へのマイナスイメージを回避するためであった、としている。その意図は理解できないではないが、結果としてこの判断は意図した効果を発揮せず、かえって幼稚園側に不利な内容を一層助長する結果になったことは争えない。「ないないづくしの教育」は幼稚園側にとっては、のびのびとした手作りの教育・経営方針であり、それを誇りとしているものであるから、その点についてNHKは相応の理解を欠いていた、といわなければならない。

問題は、理事長インタビューや「ないないづくしの教育」現場などを、長時間、取材したにもかかわらず、実際に放送された短時間の内容は、当初の取材趣旨とはずれがあり、幼稚園側の経営や信用にマイナスイメージを与えかねないものとなった点にある。NHKは、本件「クローズアップ現代」は少子化や女性の社会進出による幼稚園離れのなかで、今後の低年齢児童に対する教育や保育のあり方を考えることを趣旨とした、と述べている。しかし、本件放送が取り上げたテーマの社会性・公共性を十分に考慮するとしても、幼稚園側が実際に被った打撃を軽視することはできない。

2. 事実誤認について（申立要旨 4）

幼稚園側とNHKの間には、「理事長は無給」「募金」「園児数の推移」「周辺保育園との園児数比較」などの表現をめぐって、事実誤認の争いがある。

たしかにNHKがいうように、「理事長は無給」という表現や「募金」という言葉は、視聴者に分かりやすい表現として、編集上の工夫・裁量の範囲にあるといえよう。

しかし、それらの表現が正確さを欠いたため、幼稚園の厳しい環境をより強調することになり、マイナス効果であると幼稚園側に受け止められたのも無理からぬことである。

また、園児数減少の説明は事実から外れたものとまではいえないものの、幼稚園と保育園の園児数の比較グラフは、両者の全国的な状況を象徴的に示す狙いと考えられるが、公正さとバランスの点で配慮を欠いたものであった。

保育園と同様、付近の幼稚園全体のデータを掲示することが望ましかった、といえる。

全体として、これらの表現及び事実の選択は、意図的に事実を歪曲、誇張して恣意的にデータを操作したものと認めがたい。しかしながら、放送は大きな影響を及ぼすものであり、今回の番組が幼稚園の厳しい経営状況を伝えるものであったことなどを考えると、表現やデータの作成・提示の仕方において、一層の配慮と慎重さが必要であった、と考える。

3. 「おはよう関西」の放送について（申立要旨 5）

A幼稚園の教育内容を取り上げた「おはよう関西」は、番組の狙いや放送時間帯、放送地域など、「クローズアップ現代」とは全く別の番組であり、この放送により、幼稚園側が主張する問題点が直接解決されるというものではない。しかし「おはよう関西」では、「クローズアップ現代」でカットされ、幼稚園側が強く望んだ「ないないづくし」と「のびのび保育」の教育方針が正面から紹介されている。NHKは、抗議に対する是正措置とは認めていないが、実質的には、幼稚園側に不利な放送内容も相当程度是正される効果を持った、と考えられる。

4. 結論と措置

一般に、取材されたものが全て放送されるわけではなく、取材したものを取捨選択して放送することは、編集の自由の一環として、もとより保障されるべき事柄である。しかし、取材対象者の多くは取材に不慣れであるにもかかわらず、その立場に十分配慮することなく番組制作が進められることが少なくない。本件の場合も、その一例といえることができる。

放送局は取材に際し、場合によっては書面によるなど取材趣旨をできるかぎり明確かつ懇切に説明すべきである。また、編集過程で全面的なカットや重要な変更がなされた場合には、それを速やかに取材対象者に伝えることが望ましい。本件の場合にも、取材申し込みの時点で、取材の趣旨がもっぱら幼稚園を取り巻く厳しい経営環境の問題であることを、より明確に説明していれば、このような問題は発生しなかったであろう、と思われる。

また、その編集過程で、教育方針にかかわる「ないないづくしの教育」の部分のカットしようとしたのであるから、幼稚園側にその旨伝えるとともに、

真摯に了解や説得を試み、幼稚園側の意見や言い分をできるだけ放送に反映する努力を払うべきであった。

本件放送自体は、取材した事実に基本的に基づいていることや、事柄の公共性などを考慮すると、訂正放送の必要性までは認められない。しかしながら、取材、編集過程で配慮に欠けるところがあったため、幼稚園側からみれば、一方的で著しくバランスを欠いた放送であると認識されたことも事実であり、放送倫理上問題があった、と判断する。

したがって、本委員会はNHKに対し、委員会決定の主旨を放送するとともに、局内に周知徹底させ、今後の取材・報道に当たっては、取材を受ける側への一層の配慮に努めることを要望する。

・ 審理経過

審理経過は別紙の通りである。

別紙

審 理 経 過

年 月 日	審 理 内 容
1998 6 . 3	幼稚園側の「権利侵害申立書」受理
6 . 4	NHKに「申立書」送付、「答弁書」とVTRの提出を要請
6 . 11	NHKの「答弁書」とVTR受理
6 . 18	委員会審理を開始（VTR視聴など）
6 . 19	幼稚園側に「答弁書」送付、「反論書」の提出を要請
7 . 3	幼稚園側の「反論書」受理、NHKに送付、再答弁書の提出を要請
7 . 10	NHKの「再答弁書」受理
7 . 16	委員会審理
8 . 31	委員会審理（幼稚園側、NHKのヒアリングなど）
9 . 10	第1回起草委員会
9 . 22	第2回起草委員会
9 . 24	委員会審理（起草委員会草案討議）
10 . 15	・小委員会（「委員会決定」原案作成） ・委員会審理、「委員会決定」原案を了承
10 . 26	幼稚園側、NHK双方に「委員会決定」を通知・公表